

きたぎんＩＣキャッシュカード特約

１．（特約の適用範囲）

（１）この特約は、ＩＣキャッシュカード（従来のキャッシュカード機能に加え、全国銀行協会標準仕様のＩＣキャッシュカードとしての機能その他当行所定の取引にかかる機能（以下、かかる機能を総称して「ＩＣチップ提供機能」といいます。）の利用を可能とするカードのことをいいます。）を利用するにあたり適用される事項を定めるものです。

（２）この特約は、キャッシュカード規定の一部を構成するとともに同規定と一体として取扱われるものとし、この特約に定めがない事項に関してはキャッシュカード規定が適用されるものとします。

２．（ＩＣチップ提供機能の利用範囲）

ＩＣチップ提供機能は、この機能の利用が可能な現金自動預入払出兼用機（以下、「ＩＣキャッシュカード対応ＡＴＭ等」といいます。）を利用する場合に提供されます。

３．（ＩＣキャッシュカードの利用）

当行の現金自動預入払出兼用機（以下、「ＡＴＭ等」といいます。）および提携先のＡＴＭ等・現金自動支払機（以下、「ＣＤ等」といいます。）において、ＩＣキャッシュカードの利用ができないＡＴＭまたはＣＤを設置している場合があります。この場合は、ＩＣキャッシュカードとしての利用はできませんが、磁気ストライプカードとしての利用ができます。

４．（ＩＣキャッシュカード対応ＡＴＭ等の故障時の取扱い）

ＩＣキャッシュカード対応ＡＴＭ等の故障時には、ＩＣチップ提供機能の利用はできません。

５．（ＩＣチップ読取不能時の取扱い等）

（１）ＩＣチップの故障等によって、ＩＣキャッシュカード対応ＡＴＭ等においてＩＣチップを読み取ることが出来なくなった場合には、ＩＣチップ提供機能の利用はできません。この場合、当行所定の手続きにしたがって、すみやかに当行にキャッシュカードの再発行を申し出てください。

ＩＣチップの故障等によって、ＩＣキャッシュカード対応ＡＴＭ等においてＩＣチップを読み取ることができなくなったことにより損害が生じても、当行は責任を負いません。

きたぎんキャッシュカード規定

１．（カードの利用）

普通預金（総合口座取引の普通預金を含みます。以下同じです。）について発行したきたぎんキャッシュカード、および貯蓄預金について発行した貯蓄預金キャッシュカード（以下これらを「カード」といいます。）は、それぞれ当該預金口座について、次の場合に利用することができます。

（１）当行の現金自動預入払出兼用機（以下「預入払出機」といいます。）を使用して普通預金または貯蓄預金（以下これらを「預金」といいます。）に預入れする場合。

（２）当行および当行が現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関（以下「提携先」といいます。）の現金自動支払機（預入払出機も含みます。以下「支払機」といいます。）を使用して預金の払戻しをする場合。

（４）その他当行所定の取引をする場合。

２．（預入払出機による預金の預入れ）

（１）預入払出機を使用して預金に預入れをする場合には、預入払出機の画面表示等の操作手順に従って、

預入払出機にカードまたは通帳を挿入し、現金を投入して操作してください。

- (2) 預入払出機による預入れは、預入払出機の機種により当行所定の種類の紙幣に限ります。また、1回あたりの預入れは、当行所定の枚数による金種の範囲内とします。
- (3) カードによる預入れがあった場合には、ご利用明細票に預入れ後の残高を印字します。なお、預入金額は前記(1)の操作において、預入払出機の画面表示により確認してください。

3. (支払機による預金の払戻し)

- (1) 支払機を使用して預金の払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に従って、支払機にカードを挿入し、届出の暗証番号および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
- (2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当行または提携先所定の金額単位とし、1回あたりの払戻しは、当行または提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの払戻しは、当行所定の金額の範囲内とします。
- (3) 支払機を使用して預金の払戻しをする場合に、払戻請求金額と第6条第1項に規定する自動機利用手数料金額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。
- (4) 当行のATMでの操作により1日あたりの支払限度額の引下げ変更ができます。なお、支払限度額を引上げする場合は、当行の窓口で書面による所定の手続きにより行います。

4. (振込機による振込)

- (1) 振込機を使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に従って、振込機にカードを挿入し、届出の暗証番号その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における預金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
- (2) 当行のATMを使用して振込する場合、振込依頼人名を変更することができます。

5. (預入払出機による振替入金)

- (1) 預入払出機を使用して振替入金をする場合には、預入払出機の画面表示等の操作手順に従って、預入払出機にカードおよび振替入金口座の通帳を挿入し、届出の暗証番号その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における預金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出の必要はありません。
- (2) 預入払出機による1回あたりの振替入金は当行所定の金額の範囲内とします。

6. (自動機利用手数料等)

- (1) 支払機又は振込機を使用して預金の払戻しをする場合には、当行および提携先所定の支払機・振込機の利用に関する手数料(以下「自動機利用手数料」といいます。)をいただきます。
- (2) 自動機利用手数料は、預金の払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その払戻しをした預金口座から自動的に引落しします。なお、提携先の自動機利用手数料は、当行から提携先に支払います。
- (3) 当行の振込機を使用して振込する場合には当行所定の振込手数料を、またカード振込提携先の振込機を使用して振込する場合にはカード振込先所定の振込手数料を振込資金の預金口座から払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その払戻しをした預金口座から自動的に引落しします。なお、カード振込提携先の振込手数料は、当行からカード振込提携先に支払います。

7. (代理人による預金の預入れ・払戻しおよび振込入金)

- (1) 代理人(配偶者に限ります。)による預金の預入れ・払戻し・振込・振替入金の依頼をする場合には、

本人から代理人の氏名・暗証番号を届出てください。この場合、当行は代理人のためのカードを発行します。

(2) 代理人のカードの利用についても、この規定を適用します。

8. (預入払出機・支払機・振込機故障時等の取扱い)

停電・故障等により預入払出機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当行本支店の窓口で当行所定の入金票を作成し預金に預入れをすることができます。

9. (カードによる預入れ・払戻し金額等の通帳記入)

カードにより預入れた金額、払戻した金額、自動機利用手数料金額、振込手数料金額の通帳記入は、通帳が当行の預入払出機、支払機、振込機で使用された場合または当行本支店の窓口で提出された場合に行います。なお、払戻した金額と自動機利用手数料金額、振込手数料金額はそれぞれ通帳に記入します。

10. (カード・暗証番号の管理等)

(1) 当行は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当行が本人に交付したカードであること、および入力された暗証番号と届出の暗証番号とが一致することを当行所定の方法により確認のうえ預金の払戻しを行います。

(2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証番号は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当行に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる預金の払戻し停止の措置を講じます。

(3) カードの盗難にあった場合は、当行所定の届出書を当行に提出してください。

11. (偽造カード等による払戻し等)

偽造または変造カードによる払戻しについては、本人の故意による場合または当該払戻しについて当行が善意かつ無過失であって本人に重大な過失があることを当行が証明した場合を除き、その効力を生じないものとします。この場合、本人は、当行所定の書類を提出し、カードおよび暗証の管理状況、被害状況、警察への通知状況等について当行の調査に協力するものとします。

12. (盗難カードによる払戻し等)

(1) カードの盗難により、他人に当該カードを不正使用され生じた払戻しについては、次の各号のすべてに該当する場合、本人は当行に対して当該払戻しにかかる損害(手数料や利息を含みます。)の額に相当する金額の補てんを請求することができます。

カードの盗難に気づいてからすみやかに、当行への通知が行われていること

当行の調査に対し、本人より十分な説明が行われていること

当行に対し、警察署に被害届を提出していることその他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること

(2) 前項の請求がなされた場合、当該払戻しが本人の故意による場合を除き、当行は、当行へ通知が行われた日の30日(ただし、当行に通知することができないやむをえない事情があることを本人が証明した場合は、30日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。)前の日以降になされた払戻しにかかる損害(手数料や利息を含みます。)の額に相当する金額(以下「補てん対象額」といいます。)を補てんするものとします。

ただし、当該払戻しが行われたことについて、当行が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があ

ることを当行が証明した場合には、当行は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。

(3) 前2項の規定は、第1項にかかる当行への通知が、盗難が行われた日(当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な預金払戻しが最初に行われた日。)から、2年を経過する日以後に行われた場合には、適用されないものとします。

(4) 第2項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当行が証明した場合には、当行は補てん責任を負いません。

当該払戻しが行われたことについて当行が善意かつ無過失であり、かつ、次のいずれかに該当する場合

A 本人に重大な過失があることを当行が証明した場合

B 本人の配偶者、二親等内の親族、同居の親族、その他の同居人、または家事使用人(家事全般を行っている家政婦など。)によって行われた場合

C 本人が、被害状況についての当行に対する説明において、重要な事項について偽りの説明を行った場合

戦争、暴動等による著しい社会秩序の混乱に乗じまたはこれに付随してカードが盗難にあった場合

13. (カードの紛失、届出事項の変更等)

カードを紛失した場合または氏名、代理人、その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人から当行所定の方法により当行に届出てください。

14. (カードの再発行等)

(1) カードの盗難、紛失等の場合のカードの再発行は、当行所定の手続をした後に行います。この場合、相当の期間をおき、または保証人を求めることがあります。

(2) カードを再発行する場合には、当行所定の再発行手数料をいただきます。

15. (預入払出機・支払機・振込機または端末機への誤入力等)

預入払出機・支払機・振込機の使用に際し、金額等の誤入力により発生した損害については、当行は責任を負いません。なお、提携先の支払機を使用した場合の提携先の責任についても同様とします。

16. (解約、カードの利用停止等)

(1) 預金口座を解約する場合またはカードの利用を取りやめる場合には、そのカードを当行に返却してください。なお、当行普通預金規定または貯蓄預金取引規定により、預金口座が解約された場合にも同様に返却してください。

(2) カードの改ざん、不正使用など当行がカードの利用を不相当と認めた場合には、その利用をおことわりすることがあります。この場合、当行からの請求がありしだい直ちにカードを当行に返却してください。

(3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当行の窓口において当行所定の本人確認書類の提示を受け、当行が本人であることを確認できたときに停止を解除します。

第17条に定める規定に違反した場合

預金口座に関し、最終預入れまたは払戻しから当行が別途表示する一定の期間が経過した場合

カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当行が判断した場合

17. (譲渡、質入れ等の禁止)

カードは譲渡、質入れまたは貸与することはできません。

18. (規定の適用)

この規定に定めのない事項については、当行普通預金規定、総合口座取引規定、貯蓄預金取引規定および振込規定により取扱います。

以上

きたぎんローンカード(カードローン)規定

1. (カードの利用)

きたぎんカードローン契約に基づく、きたぎんローンカード〔カードローン用〕(以下「カード」という)は、当行および当行がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関(以下「提携銀行」という)の現金自動支払機(現金自動預入払出兼用機を含む。以下「支払機」という)を使用して当座貸越を借入れる場合、または普通預金(総合口座取引の普通預金を含む。以下同じ)を払戻す場合(以下「借入れ・払戻し」という)に利用することができます。

2. (支払機による借入れ・払戻し)

- (1) 支払機を使用して借入れ・払戻しするときは、支払機にカードを挿入し、届出の暗証番号と金額をボタンにより操作してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
- (2) 支払機による借入れ・払戻しは支払機の機種により1千円または1万円単位とし、1回あたりの借入れ・払戻しは当行(提携銀行の支払機の場合はその提携銀行)が定めた金額の範囲内とします。
- (3) 当行および提携銀行の支払機により借入れ・払戻しする場合に、借入れ・払戻し金額と次条の支払機使用手数料金額との合計額が借入れ・払戻しのできる金額をこえるときは借入れ・払戻しすることができません。

3. (支払機使用手数料)

- (1) 当行および提携銀行の支払機を使用して借入れ・払戻しする場合には当行および提携銀行の所定の支払機使用手数料を支払ってください。
- (2) 前項の手数料は借入れ・払戻し時に通帳および払戻請求書なしで預金口座から自動的に引落とします。なお、提携銀行には当行から支払います。

4. (カードによる借入れ・払戻し金額の通帳記入)

支払機でカードにより借入れ・払戻した金額および支払機使用手数料の記入は、通帳を当行の支払機で使用されたときまたは当行本支店の窓口に出されたときに行います。

5. (カードの紛失、届出事項の変更等)

- (1) カードを失ったときまたは氏名(署名)、暗証その他の届出事項に変更があったときは、直ちに本人から書面によってお取引店に届出てください。この届出の前に生じた損害については当行は責任を負いません。
- (2) カードを失った場合のカードの再発行は、当行所定の手続きをした後に行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。

6. (暗証照合等)

当行の支払機により、カードを確認し、支払機操作の際使用された暗証と届出の暗証との一致を確認して借入れ・払戻したうちは、カードまたは暗証につき、偽造、変造、盗用その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当行は責任を負いません。なお、提携銀行の支払機により借入れ・払戻した場合、当行および提携銀行の責任についても同様とします。

7. (解約等)

(1) 預金口座を解約する場合またはカードの利用を取りやめる場合には、カードをお取引店に返却してください。

(2) カードの改ざん、不正使用など当行がカードの利用を不適用と認めた場合には、その利用をお断りすることがあります。この場合、当行からの請求がありしだい直ちにカードをお取引店に返却してください。

8 . (譲渡、質入れ等の禁止)

カードは譲渡、質入れまたは貸与することはできません。

9 . (規定の適用)

この規定に定めない事項については、当行普通預金規定または総合口座規定により取扱います。

以上